

介護と介護事業を守り、よくする！
「学び」「共感」「モチベーション」をもたらす研修シリーズ

天晴れ介護サービス式法定研修 認知症ケア BPSD対応の考え方と具体策（前編）

■介護と介護事業を守り、よくするために

天晴れ介護サービス総合教育研究所 株式会社
代表取締役 榊原 宏昌

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

I

本日の内容（※ChatGPT参照）

介護現場で認知症について学ぶ意義は、単なる知識習得にとどまらず、利用者の尊厳を守りながら、よりよいケアを実現することにあります

- ・適切な対応ができ、利用者の不安を和らげる
- ・介護者自身の負担やストレスを軽減できる
- ・認知症の進行を遅らせる支援ができる
- ・家族やチームと連携し、質の高いケアを提供できる
- ・認知症の人が「その人らしく生きる」サポートができる

本人・家族・介護者すべてにとって、より良い結果をもたらすためにも、認知症について知識を得ること、よりよいケアを学ぶことが大切です

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

2

講師プロフィール

- ◎昭和52年、愛知県生まれ 介護福祉士、介護支援専門員
- ◎京都大学経済学部卒業後、平成12年、特別養護老人ホームに介護職として勤務
- ◎社会福祉法人、医療法人にて、生活相談員、グループホーム、居宅ケアマネジャー、有料老人ホーム、小規模多機能等の管理者、新規開設、法人本部の実務に携わる
- ◎15年間の現場経験を経て、平成27年4月「介護現場をよくする研究・活動」を目的に独立
- ◎著書、雑誌連載多数。講演、コンサルティングは年間400回を超える
- ◎ブログ、facebook、毎朝5:55のライブ配信など毎日更新中
- ◎YouTubeや動画ライブラリーでは500本以上の動画を配信
- ◎介護と介護事業を守り、よくする！「事業経営&教育インフラ」リーダーズ・プログラム（年会費制）主催
- ◎4児の父、趣味はクラシック音楽
- ◎天晴れ介護サービス総合教育研究所 <https://www.appare-kaigo.com/> 「天晴れ介護」で検索



- 日本福祉大学 社会福祉総合研修センター 兼任講師
- 全国有料老人ホーム協会 研修委員 ■稲沢市 地域包括支援センター運営協議会委員
- 7つの習慣アカデミー協会 認定ファシリテーター
- 出版実績：中央法規出版、日総研出版、ナツメ社、その他10冊以上
- 平成20年第21回GEヘルスケア・エッセイ大賞にてアーリー・ヘルス賞を受賞
- 榊原宏昌メールアドレス sakakibara1024@gmail.com

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

3

介護現場をよくする研究・活動



<https://www.appare-kaigo.com/> [天晴れ介護](#)

- facebook、ブログ等を毎日更新、情報発信
- 天晴れ介護サービス総合教育研究所YouTubeチャンネル 週1～2回動画配信
- メルマガ（日刊：介護の名言、週刊：介護現場をよくする研究&活動通信）
- 以上の情報はHP（「天晴れ介護」で検索）よりどうぞ

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

4

介護現場をよくする研究・活動

■よい介護職はいても、よい介護現場はなかなかない……

- ・ 1人1人がよくなるだけでは、うまくいかない
- ・ チーム、組織、目標、計画、ルール
リーダーシップ、コミュニケーションなどが必要
- ・ 「介護現場」をよくすることで
利用者はもちろん、職員も幸せになれる！
- ・ 人と人とお互いに学び合い
気持ちよく支え合える社会づくり

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

5

天晴れ介護サービス「ACGs」！

APPARE CARE SERVICE GOALS 2023

天晴れ介護サービス
介護現場をよくする21のテーマ



Colored by bridge link plus

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

6

著書・雑誌連載



Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

7

おかげさまで！

amazon ランキング

10部門
1位

利用者・職員から選ばれる！
**介護サービス
経営の教科書**
人を大切にする経営「10」の極意

利用者・職員から選ばれる！
**介護サービス
経営の教科書**
97%が
効果を実感！
年間400回超の
コンサルティングから見た
人を大切にする経営「10」の極意
B1A出版

稼働

数字

個別ケア

人材確保

ルール

コミュニ
ケーション

継続的学習

評価制度

組織・人事

PDCA

本日の内容

■前編

・BPSD（拒否について）

ケアに対する拒否について／入浴ケア／排泄ケア

■中編

・BPSD（拒否について）

口腔ケア／サービスの利用（主に通所系サービス）

・BPSD（リスクについて）

徘徊／帰宅願望

■後編

・BPSD（リスクについて）

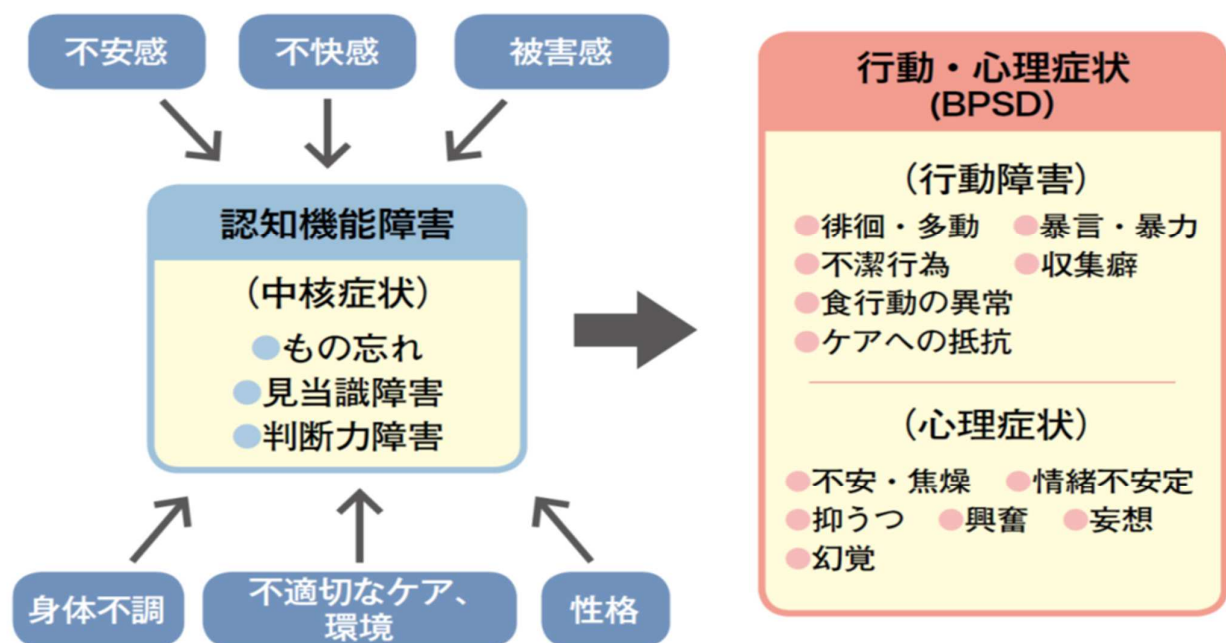
暴力／怒り出すことが多い／異食／火気の不始末／物を盗む

・認知症の方と家族の気持ち／ケアにあたる職員の姿勢

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

9

中核症状とBPSDの関係



加藤伸司：認知症の人の視点からとらえる BPSD（老年精神医学雑誌）に著者改変

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

10

拒否という言葉について

1. 「拒否」をされて困っていることはありますか？

2. 「拒否」という言葉についてどう感じますか？
特に、自分が利用者だったら、という視点で考えてみてください。

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

11

拒否という言葉について

■「拒否」と言うと、利用者側が悪かったり、わがままを言っているように聞こえますが、実は嫌がる「原因」を見過したり、介護者自身が「原因」を作っていることもあります。

■拒否をする「原因」を利用者の「立場」になって探り、アプローチを「工夫」しましょう

「介護拒否」とはどんな状態のことを指すのでしょうか。
ざっくり言えば「必要なケアを行おうとしても拒否される」
「暴言・暴力を伴う場合が多い」ということになります。

必要なケアを行えない状況が続くと、
利用者の健康を損ねたり、
場合によっては介護放棄とみなされてしまうリスクを伴います。

利用者に負担なく必要なケアが行え、
利用者の健康状態を維持できるよう、
介護拒否に対する基本的な対応を以下に挙げました。

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

12

ケアを拒否する

●必要なケアを行おうとしても拒否される状態。暴言・暴力を伴う場合が多い。

予測されるリスク

●排泄や入浴など必要なケアが行えず、健康を損ねることがある。

●介護放棄などの虐待につながる。

ケア内容	根拠・留意点
拒否する 原因 を探り、取り除く	●例えば、入浴拒否の場合、脱衣場が寒いことが原因であることもある
時間を変える	●怒っているなど興奮が強いための拒否であると話ができないこともある。少し時間をおいて関わるのも有効
安心できる 居場所 をつくる	●不安が強かったり、混乱しているうちは、特に身体に触れるケア内容について必要以上に恐怖や不安を感じるものである。人間関係を良好にしたり、役割をもってもらったり、楽しい活動をとともにすることで、今いる場所に安心してもらう
介護されてもよいと思える 人間関係 をつくる	●よく拒否が見られる入浴や排泄は、考えてみれば他人に介護されたくない領域である。そこに触れてもよいと思う人に介護者になることができているかを問う必要がある
担当者を変える	●一定の努力、工夫が必要であることを前提として、人間関係は相性の問題でもあるため、相性の悪い人とは無理をせず、よい関係を結べそうな人と過ごせるようにする ●人が交替することで気分が変わることもある

入浴ケアを拒否する

●もともとお風呂が好きではない、認知症のために裸になって入浴するということが理解できない、他人に入浴を介助されることに抵抗感がある、お風呂がおっくうで面倒であるなどが原因で起こる状態。

予測されるリスク

- 長期間お風呂に入らないことにより不衛生になる。
- 無理やり入浴を勧めることで介助者との人間関係が悪化する。

ケア内容	根拠・留意点
一つひとつの動作について 丁寧に声かけ をして 同意 を得ながら介助を進める	●お年寄りからしたら、裸になったり、他人に身体を洗われることを恐怖に感じることも多い
脱衣所や浴室の 温度 設定に気をつける	●寒かったり、床が冷たかったりすると、それだけでもビックリしたり、嫌な気持ちにつながる
できる限り自分 で洗ってもらえる工夫をする	●介助されるという状況が拒否につながることもある ●自分で洗える工夫をすれば拒否も少なくなる ●タオルや洗剤ボトルを自分専用のものにするなどもやってみよう
家庭 にあるような 小さな浴槽 で、一人ずつ介助する	●集団で入浴することに抵抗がある人もいる。逆に、集団のほうが抵抗なく入りやすいときもあるので臨機応変に対応する
畑仕事 や 散歩 など、汗をかくような 活動 のあとに入浴を勧める	●日常生活のなかの自然な流れで誘う
入浴の時間帯を 夜間帯 にする	●生活習慣として、夕食後から就寝前にお風呂に入っていた人には有効なことが多い
足浴、手浴などの 部分浴 から勧める	●時間をかけて慣れてもらうことで安心できる人間関係をつくっていく

排泄ケアを拒否する

●排泄の失敗を理解できない、オムツをつける必要性がわからない、オムツをつけることが不快、オムツをつけることで自尊心が傷つき拒否をしている状態などが考えられる。他人に排泄を介助されることに抵抗感がある場合が多い。

予測されるリスク

- 排泄物が漏れて不衛生になる。
- 排泄物の処理など介護者の負担が増える。
- 無理やりケアされることで自尊心が傷つき、意欲が低下する。
- トイレ以外の場所で排泄してしまうと、臭うだけでなく家が傷む。
- 家族のストレスが強くなり、在宅介護が継続できなくなる。
- 家族から注意されることで本人のストレスがより強くなる。

ケア内容	根拠・留意点
尿意・便意の兆候を把握する	●お腹をおさえる、席を立て落ち着かなくなるなどに気づく。オムツを使わなくてもよい状態にするためにも有効
排泄パターンを調べ、オムツの中で排泄をする前にトイレ誘導する	●尿意・便意がつかめないようならパターンを調べてみる
オムツが必要なら、できるだけ小さくて薄いものを使う	●オムツをつける本人の不快感に配慮するためにも、最低限のものにする努力が必要
朝食後にはトイレ誘導を行う	●トイレで排便できるようになると、オムツの中で排便することが少なくなり、拒否も少なくなる

オムツを外す

ケア内容	根拠・留意点
可能な限り、 トイレの介助 を行い、オムツを使わなくても済むようにする	●実際には難しいが、結局オムツを外してしまうのなら、トイレ介助を行えるようにしたい
可能な限り、 汚れたらすぐに交換 する	●これも実際には難しいが、本人のちょっとした兆候から不快に感じている様子を読み取って交換する。もちろんある程度の時間を見計らって交換することも重要
できるだけ 不快感の少ないオムツ を使用する	●排尿後のムレが少ないものや、締めつけがきつくないものなどを選ぶ
夜間に外すことが多い場合には、 寝る前 に必ず トイレで排泄 してもらう	●夜間に外す場合、ベッドや寝具が毎日汚れることになり、家族の負担が増大する。寝る前のトイレ誘導を行うようにする
オムツを外す ことを 検討 する	●排便パターンを把握し、早めにトイレに誘導できれば、トイレで排便できる回数を増やすことができる

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

19

本日の内容

■前編

・BPSD（拒否について）

ケアに対する拒否について／入浴ケア／排泄ケア

■中編

・BPSD（拒否について）

口腔ケア／サービスの利用（主に通所系サービス）

・BPSD（リスクについて）

徘徊／帰宅願望

■後編

・BPSD（リスクについて）

暴力／怒り出すことが多い／異食／火気の不始末／物を盗む

・認知症の方と家族の気持ち／ケアにあたる職員の姿勢

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

20

継続的な学習の重要性！

■成長のために

- ・ ギャップを埋める & 強みを活かす
- ・ 時間とエネルギーをかけた分だけ成長する
- ・ よい情報を浴び続ける、そういう 環境に身を置く
- ・ 成長は螺旋階段、その時々で 受け取るものも違う
- ・ ミラーニューロン効果（思考・行動に影響、時間差で効果!）、感度が高まる
- ・ 知れば知るほど分からないことが増える、知りたいことが増える
- ・ 学びが理想をつくり、理想が学びを生む

■メンテナンスのために

- ・ いつも良い状態を保てるとは限らない……。
- ・ 定期的に軌道修正させてくれる、人・環境の存在が必要

■自分自身、そしてチームワーク

- ・ シャンパンタワー：自分が満ち足りて、人を満たすことができる
- ・ 研修はチームで参加、普段は話さないことも話す、施設を越えた連携

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

21

継続的な学習の機会を持つために



影響力・インパクト



回数・頻度



習慣化 = インパクト × 回数

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

22

介護現場をよくするライブラリー



介護現場をよくするライブラリー



ホーム



セミナー



お気に入り



閲覧履歴

会員登録

キーワードで探す



経営から現場まで！介護と介護事業を守り、よくする「教育インフラ」リーダーズ・プログラム

初めての方へ



2週間体験利用受付中！

詳しくはこちら

お知らせ

お知らせ一覧



セミナー

【おススメ！セミナー動画】介護現場をよくする21のテーマ！

ACGs2023第22回「事業計画・目標達成」

【おススメ！セミナー動画】のご案内です。介護現場をよくする21のテーマ！ACGs2023第22回「事業計画・目標達成」～事業・サービスの継続・発展のために～https://appare-kaigo...

セミナー案内

セミナーをもっと見る



4月16日 (火)

14:00～16:00

管理職養成2024

管理職 リーダー 本部 管理者



4月17日 (水)

14:00～15:30

介護事業の教育インフラ！リーダーズ・プログラム 会員限定グループコンサルティ...

会員限定 リーダーズ・プログラム

日々更新中！公式サイト・SNS



公式サイト



ブログ



Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

23

研修・動画の内容 経営から現場まで500本以上！

- 経営者・経営幹部向けセミナー（20時間相当＋α）
- 管理職向けセミナー（20時間相当＋α）
- ケアマネジャー向けセミナー（10時間相当＋α）
- 全職員向け法定研修シリーズ（10時間相当＋α）
- 新人職員向けセミナー（10時間相当）
- 赤本・青本・緑本通読セミナー（20時間相当＋α）
- 1日集中講座シリーズ！（30時間相当）
（稼働率、人材確保、管理職養成、実地指導、ケアマネジメント等）
- 令和3年度介護報酬改定セミナー（10時間相当）
- リーダー、相談援助職のための説明力向上講座（5時間相当）
- 最新情報＆トピックス「マンスリー・ジャーナル」（20時間相当）
- 工藤ゆみさんのコミュニケーション力向上講座（20時間相当）
- 進絵美さんの面談スキル向上講座（5時間相当）
- 吉村N Sの看護セミナー（5時間相当）
- ケアマネジャー受験対策セミナー（15時間相当）

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

24

こちら是非ご覧くださいませ！

天晴れ介護サービス公式LINEに登録して
「お得情報」と「特典動画」「限定セミナー」を
手に入れる！

特典動画は「経営から現場まで！
介護事業の永続的な成功を実現する3つの取り組み」！

天晴れ介護サービスYouTubeチャンネルに
登録して「無料動画」で楽しく学習する！

約400本の動画＋数分のショート動画もあります！
気軽に学ぶには最適です！

facebookグループ
介護と介護事業を守り、よくする！
1000人の仲間たち＼（＾＾）／
に参加して「毎月の介護ニュース」を見る！

毎月1回、グループ限定で「介護ニュース」を配信中！
facebookでは毎朝5:55のライブも開催しています

天晴れ介護サービス公式メルマガに登録して
「最新情報」と「特典動画」を手に入れる！

毎週4,000字の情報＋特典動画！
特典動画は…これから用意しますm(__)m



Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

25

天晴れ介護サービス法定研修

ご清聴ありがとうございました！



天晴れ介護サービス総合教育研究所

代表 榊原宏昌

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

26